

吸実性カメムシ類

- ①ホソヘリカメムシ (Bean bug) *Riptortus clavatus*
- ②イチモンジカメムシ (Single-banded stingbug) *Piezodorus hybneri*
- ③アオクサカメムシ (Green stink bug) *Nezara antennata*
- ④ブチヒゲカメムシ (Sloe bug) *Dolycoris baccarum* 他

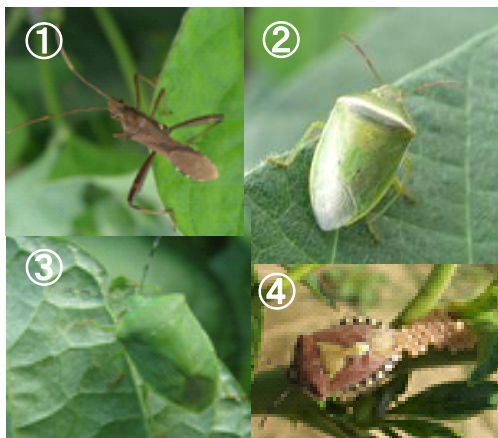


写真1 各種吸実性カメムシ類の成虫
①ホソヘリカメムシ、②イチモンジカメムシ
③アオクサカメムシ、④ブチヒゲカメムシ



写真2 吸実性カメムシ類によるダイズ子実の吸実被害

発生生態

吸実性カメムシ類には、ホソヘリカメムシ(写真1①)、イチモンジカメムシ(同②)、アオクサカメムシ(同③)、ブチヒゲカメムシ(同④)などがあります。これらの成虫、幼虫が、大豆、小豆などのマメ科作物の莢を貫通して子実に口針を差し込み、その内容物を吸汁するため、子実の品質低下(写真2)を引き起こします。年2～3回発生し、成虫態で越冬します。

防除対策

結莢期から7～10日間隔で2～3回、カメムシ類に登録のある殺虫剤を散布します。